

新幹線プレス

2012年9月27日

No.73

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

「安全」より「標準化」が絶対なのか！

前照灯「全」位置は安全上問題ない！？

東京車両所では仕業検査時、前照灯を「全」位置にしているため構内入換や線路横断時に眩しくて安全確認に支障があるという現場の声がありました。私たちはこれを受けて「減光」にするなど安全対策を求めましたが、会社は「安全上問題ない。決められたとおりにやればよい」という姿勢を明かにしました。

社員からの“危険”指摘を無視！

私たちは現場の声を基に『職場改善』を要求してきました。その中の「構内入換で庫入れ時、ハンドルを投入した車両の標識灯『全』位置だと非常に眩しく、前方の安全確認が取りづらく、操縦者の前方注視が困難になるため仕業検査マニュアルを変更し、標識灯検査後は標識灯スイッチを『減』光位置とすること」という要求に対して会社は、9月26日の業務委員会の中で「安全上問題ない」「標準化でそう決まっている」とし、社員が危険と指摘している事柄に対して何ら対策する意思がないことを明らかにしました。

「安全」を優先した「標準化」に見直せ！！

現場で実際に作業をしていて、危険を感じるため対処して欲しいという極めて些細な要求は、「標準化の見直し」という簡単な手直しで解消できる事柄であるにも関わらず、「安全上問題ない」「不都合はない」「安全を阻害していない」「会社の認識はそういうことだ」と会社は頑なに拒んでいます。

このような対応に対して私たちは「標準化は絶対なのか！安全より優先されるのか！」と指摘し、安全確保の為に不都合を是正するように強く訴えました。

JR東海労新幹線地本は、安全を無視する傲慢な会社の姿勢を許さず、これからも闘います！